

三重建資RC四試 5405 号
受付 2025年11月12日
報告 2025年11月26日

三重県津市安濃町戸島2510番地

AGEI 株式会社

殿

国土交通省中部地方整備局 認知

〒510-0834

三重県四日市市とさく2番40号

TEL 0593-83706

FAX 0593-83736

一般社団法人 三重県建設資材試験センター

四日市試験場

承認署名者 場長代理 中村 尚子

中村

試験報告書

2025年11月12日付けで依頼のあった骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)の持ち込み試料の試験結果は下記の通りでした。

1, 試料名 ※	砂利 40-20 ✓
2, 産地及び岩種 ※	安濃川流域 花こう岩を主とする。 ✓
3, 採取場所 ※	株式会社 安芸砂利 砂利工場 ✓
4, 採取日 ※	2025年11月11日 ✓
5, 試験項目	骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法) ✓
6, 試験実施期間	2025年11月25日 ～ 2025年11月26日
7, 判定結果	無害 ✓

(注)※印は依頼者申請事項

試験実施場所:一般社団法人 三重県建設資材試験センター 四日市試験場 分析室

全国生コンクリート工業組合連合会認定試験項目

(1/2)

内久田

1, 試験結果

試料	繰り返し	アルカリ濃度減少量 Rc (mmol/L)	溶解シリカ量 Sc (mmol/L)	
			吸光光度法	質量法
砂利 40-20	1	39	20	----
	2	39	20	----
	3	40	21	----
	平均値	39 ✓	20 ✓	----

2, 試験方法

JIS A 1145 : 2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)による

備考 ; 吸光光度法で使用した測定機器 日立U-3900形分光光度計

3, 骨材のアルカリシリカ反応性の判定

骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし、次による。

a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を”無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を”無害でない”と判定する。

b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を”無害”と判定する。

c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

以上